



～ 特殊詐欺被害の認知状況～

- ◆ 7月中は6件の特殊詐欺被害を認知しました。
- ◆ 被害額の合計は約6,400万円です。
- ◆ 【7月中の特殊詐欺の主な犯行手口】
 - 保険局保険課を名乗る者から、「お金を振り込みたいのでどこの口座を使用していますか。」等と電話があり、「郵便局を使っている」と返答すると、犯人は、「郵便局のカードは使えないので職員が伺います。」と申し立てた。その後、保険局保険課の職員を名乗る者が被害者方に訪れ、同人から「封筒にキャッシュカードを入れてください。封印をしますので印鑑を持ってきてください。」等と言われ、被害者が印鑑をとりに行っている間に、犯人は、封筒に入れていたキャッシュカードを別のカードにすり替え、戻ってきた被害者に封印をさせ立ち去ったもの。
 - 息子を名乗る者から1,500万円の送金カードが入った書類を別の場所に送ってしまったので、お金を貸して欲しいと電話があり、誤信した被害者が銀行から500万円を引き出し、指定された都内の駅まで500万円を持参し、部下を名乗る者(見ず知らずの他人)に渡したもの。
 - 警察官を名乗る者から「貴方の個人情報悪用した女性を検挙した。今から警察官が行きますので、指示に従ってください。」と電話があった。その後、自宅に来た警察官を名乗る者から、「封筒にキャッシュカードを入れてください。封印をしますので印鑑を持ってきてください。」等と言われ、被害者が印鑑をとりに行っている間に、犯人は封筒に入れていたキャッシュカードをトランプにすり替え、戻ってきた被害者に封印をさせ立ち去ったもの。
 - 息子を名乗る者から「駅で会社の送金カード等が入ったカバンをなくした。会社の上司が350万円を用意してくれるが、100万円を用意して欲しい。」と電話があり、息子と誤信した被害者がATMから100万円を引き出し、指定された駅まで100万円を持参し受取りに来た男性に渡したもの。



- 現金やキャッシュカードは、どんな事を言われても、絶対に他人に渡さないようにしてください！警察官と名乗っても渡したらいけません。！！
- 暗証番号を絶対に教えないで！
- 身内から電話でお金の要求があったら詐欺と考えてください。絶対に他人にお金を渡さないでください。！！
- 常に留守番電話を設定し、知らない電話番号からの電話には出ないようにしてください。また、迷惑電話防止機能付電話機への変更も効果的です。犯人は、通話内容を録音されることを嫌います。迷惑電話防止機能付電話機が設置されていれば、あなたが知らない間に詐欺を撃退し、不安に感じることもなくなります。
- 振り込め詐欺の犯人からの電話がかかってくるということは、別の振り込め詐欺グループにも電話番号が知れ渡っている可能性があります。電話番号を変更すると犯人からの電話はなくなります。